

# 地震への安心を保持しながらLDK全体を一新

富山県 一邸

## ■2×4住宅の堅牢な構造を再認識

お子さんたちが独立し、築30年を迎える自宅のリフォームに踏みきったIさん夫妻。築年数は経っているものの、建て替えではなく、住み続ける選択をしたのは夫妻にとって自然なことでした。「もともと地震の強さを知って建てたツーバイフォー住宅でしたので」とご主人。「リフォーム中に現場を見たとき、構造がしっかりしていることを再確認し、改めて安心しました」と振り返られます。

## ■大人数で集える「広く、明るい」広間へ

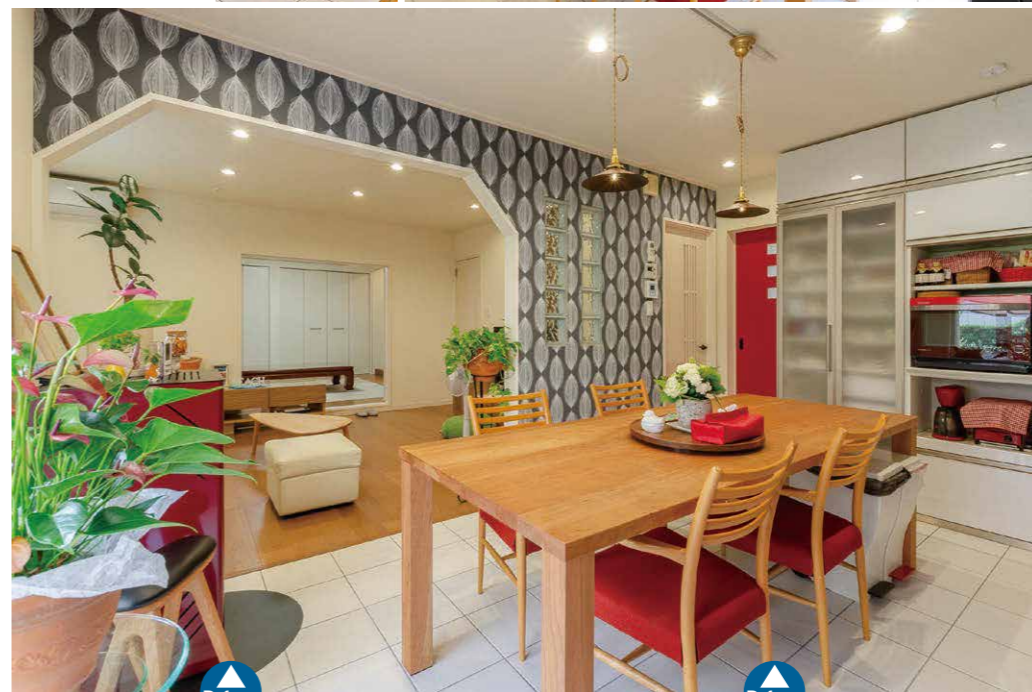
夫妻は、普段の生活を自分たちらしく楽しむことができ、また、帰省した子供たち家族がみんな一緒に集える広間をつくりたいと、1階南側に並ぶダイニングキッチン、リビング、和室を「広く、明るい」をテーマにリフォームを行いました。

強度を保持するため仕切り壁の位置は変えず、キッチンカウンターの袖壁だけを外して、対面式キッチンからI型キッチンへ変更。スペースを広く使えるダイニングキッチンに生まれ変わりました。また、リビングは内装が一新され、8畳の和室はモダンな和空間にリニューアル。3室はつなげて使え、大人数

で集える心地よい広間になりました。間取りはほとんど変わっていませんが、メリハリの効いた内装、赤をポイントとしたコーディネートや照明計画により、まるで建て替えたようにイメージは一新されました。

I型キッチンへ変え、オープンスタイルにしたダイニングキッチン。床はコルクからタイル敷きに変更され、温水式床暖房が設置された。リビング側の壁には輸入クロスが用いられ、つながりを演出するガラスブロックを設置。室内建具や家具などに、夫妻が好きな赤がポイントカラーとして使われている。

夫妻念願のベレットストーブも赤色。自治体の省エネ設備導入の補助金を活用して設置された。



南側のダイニング。  
(右)コの字型の対面式キッチンをリビングから見る。  
(左)内装をはがすとしっかりとした構造が現れた。

After Before

DATA	
リフォーム年	2018年
築年数	30年
規模	2階建て
建物面積	1階 77.84㎡ (23.54坪) 2階 56.31㎡ (17.03坪)
リフォーム面積	1階 65.08㎡ (19.69坪)

## リフォームのプロが語る

### 住み手の想いに寄り添い 資産価値を維持する2×4リフォーム

当社は、北陸地域のツーバイフォー住宅建築会社の先駆けとして新築住宅の累計着工実績は7000棟を超えます。近年では、築年数が古い住宅のリフォーム相談が増え、多くの方がライフスタイルの変化に対応する改修を希望されます。それに応えることができるのは、ツーバイフォー工法の住宅が耐震性や耐火性、気密・断熱性、耐久性など基本性能に優れ、長く住み続けることができるという安心感があるからです。

今回のリフォーム事例の特長は、住み慣れた間取りを大幅に変更することなく、新築のような真新しい雰囲気と快適さを備えたことです。構造上、間仕切り壁は撤去せず、内装の仕上げ方、素材の選定により、お客様が持たれていたイメージに仕上げることができました。

ご家族のライフスタイル、ライフプランに合わせた提案ができるように、暮らしの豊かさのためには何が最善かという視点を持って、今後もお客様の想いに寄り添い、ツーバイフォー住宅の資産価値を維持するリフォームを心がけていきたいと思っております。

(株)OSCAR 酒井 千佳史氏

邸設計・施工 / (株)OSCAR



(上)北側道路から1邸を見る。右手に玄関がある。  
(下)庭に面する南側から見た外観。出窓があるところがリビング。

リビングのフローリングは重ね貼りが採用された。照明はダウンライトに変更。奥の和室はシーリングと間接照明が組み合わされている。



リビングから続く和室は白を基調とした内装で半畳敷きのまわりがフローリングの和空間にリフォームされた。床の間は北側へ移され、西側壁面いっぱい収納スペースが造り付けられた。



隣接するダイニングキッチンと同じ白のタイルに張り替えられ、爽やかなイメージにリフォームされた洗面・脱衣室。



Before

Before



キッチンとアコーディオンカーテンで仕切られていた洗面・脱衣室。



床の間と押入れがあった8畳の和室。